



2021年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年3月5日

上場会社名 ティーライフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 伊藤 和也 TEL 0547-46-3459
 四半期報告書提出予定日 2021年3月16日 配当支払開始予定日 2021年4月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の連結業績(2020年8月1日～2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	5,612	10.5	459	78.2	468	64.7	385	73.5
2020年7月期第2四半期	5,079	12.7	257	42.2	284	53.2	222	88.8

(注) 包括利益 2021年7月期第2四半期 385百万円 (75.6%) 2020年7月期第2四半期 219百万円 (88.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	90.74	
2020年7月期第2四半期	52.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第2四半期	7,877	5,230	66.4	1,230.80
2020年7月期	7,756	4,930	63.6	1,160.07

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 5,230百万円 2020年7月期 4,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期		10.00		20.00	30.00
2021年7月期		20.00			
2021年7月期(予想)				24.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2021年3月5日)公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年7月期の連結業績予想(2020年8月1日～2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,029	4.3	700	41.1	709	34.9	560	33.2	131.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年3月5日)公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期2Q	4,250,000 株	2020年7月期	4,250,000 株
期末自己株式数	2021年7月期2Q	97 株	2020年7月期	97 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年7月期2Q	4,249,903 株	2020年7月期2Q	4,249,903 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、本決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しております。また、当社は、2021年3月12日(金)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響下において、感染拡大の防止策により社会経済活動が制限されるなか、各種政策の効果や海外経済の改善により、一部で持ち直しの動きがみられたものの、感染拡大第3波による緊急事態宣言再発出を受け、足下の景気が停滞するなど、下振れリスクが高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売、卸売業界におきましては、コロナ禍での新しい生活様式がもたらす消費行動の変化により、通信販売やテレビショッピング等の在宅で利用可能なチャネルは好調である一方、実店舗販売は時短営業や外出自粛等の影響により、業態や商材により明暗が分かれるなど、極めて厳しい状況が続いております。通信販売業界におきましては、巣ごもり消費ニーズの高まりを背景にEC（電子商取引）を中心に好調に推移するものの、参入企業の増加等により競合他社との競争が激化する様相となっております。

このような環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、「進化するウェルネス&ライフサポート企業」を将来のビジョンとし、「将来の成長に向けた挑戦」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,612百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

損益面では、営業利益は459百万円（同78.2%増）、経常利益は468百万円（同64.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は385百万円（同73.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

(小売事業)

小売事業では、健康・美容関連商品の通信販売においては、消費者の生活様式の変化をふまえ、スマホアプリやLINEを活用した販売促進やキャッシュレス決済導入に係るシステム改版などによるデジタルシフトを推進するとともに、広告出稿やカタログ配布の効率化による費用対効果の改善を中心としたコスト低減に取り組んでまいりました。また、機能性表示食品「体脂肪が気になる方のプーアール茶 ヘルシーボ」の拡販や、「N a t u W i g (ナチュウィッグ)」のプロモーション活動による認知度向上に取り組んでまいりました。ECモールにおいては、巣ごもり消費やセール等のイベントに即した品揃え拡充や販促強化を図り、健康茶、育児関連商品、ペット関連商品が伸びました。海外販売においては、T m a l l 国際を中心に現地インフルエンサーを活用した販売促進を図ってまいりました。

この結果、売上高は3,165百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は136百万円（前年同四半期は2百万円の損失）となりました。

(卸売事業)

卸売事業では、コロナ禍で需要が拡大しているテレビショッピングを中心に、主力商品の高麗人参エキス配合のサプリメント「J' s k a m i 高麗」や「I N J U V (インジュブ)」が引き続き好調に推移したほか、化粧品ブランド「J . a v e c t o i i」シリーズが売上拡大に貢献いたしました。

この結果、売上高は2,187百万円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は、202百万円（同1.1%減）となりました。

(プロパティ事業)

プロパティ事業では、袋井センター及び掛川センターにおける賃貸稼働率の維持向上、他社出荷業務の受託量拡大に取り組み、売上が伸びました。また、人員配置の最適化等により収益性の改善も進みました。

この結果、売上高は259百万円（前年同四半期比97.3%増）、セグメント利益は113百万円（同115.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、7,877百万円（前連結会計年度末比120百万円増）となりました。

流動資産の増加（同240百万円増）は、主に現金及び預金が255百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少（同120百万円減）は、主に投資その他の資産のその他が83百万円、建物及び構築物（純額）が25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、2,646百万円（前連結会計年度末比180百万円減）となりました。流動負債の減少（同59百万円減）は、主にその他が80百万円減少したことによるものであります。固定負債の減少（同120百万円減）は、主に長期借入金が114百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、5,230百万円（前連結会計年度末比300百万円増）となり、この結果、自己資本比率は66.4%となりました。

純資産の増加は、主に利益剰余金が300百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ263百万円増加し、2,188百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、274百万円（前年同四半期比35.7%増）となりました。

これは、主に法人税等の支払額143百万円、その他の純減81百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益539百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、155百万円（前年同四半期は1,134百万円の使用）となりました。

これは、主にその他の純増161百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、166百万円（前年同四半期は828百万円の獲得）となりました。

これは、主に配当金の支払額84百万円、長期借入金の返済による支出81百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮し、2020年9月4日に決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、本日

(2021年3月5日) 公表しております「業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,965	2,220
受取手形及び売掛金	1,051	1,053
有価証券	26	—
商品及び製品	554	578
仕掛品	57	50
原材料及び貯蔵品	79	69
その他	70	72
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	3,792	4,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	792	767
土地	2,429	2,429
その他(純額)	37	50
有形固定資産合計	3,259	3,247
無形固定資産		
のれん	101	90
その他	53	47
無形固定資産合計	155	138
投資その他の資産		
投資有価証券	171	163
その他	382	298
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	549	457
固定資産合計	3,963	3,843
資産合計	7,756	7,877
負債の部		
流動負債		
買掛金	433	392
1年内返済予定の長期借入金	179	212
未払法人税等	147	170
賞与引当金	58	55
役員賞与引当金	4	13
その他	601	520
流動負債合計	1,424	1,364
固定負債		
長期借入金	1,011	897
退職給付に係る負債	71	72
資産除去債務	72	72
その他	247	239
固定負債合計	1,402	1,281
負債合計	2,826	2,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	356	356
資本剰余金	326	326
利益剰余金	4,234	4,535
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,917	5,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	15
為替換算調整勘定	0	△3
その他の包括利益累計額合計	12	12
純資産合計	4,930	5,230
負債純資産合計	7,756	7,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
売上高	5,079	5,612
売上原価	2,437	2,930
売上総利益	2,641	2,682
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	898	744
貸倒引当金繰入額	7	1
役員報酬	74	72
賞与引当金繰入額	53	40
役員賞与引当金繰入額	3	13
退職給付費用	13	12
その他	1,332	1,337
販売費及び一般管理費合計	2,384	2,222
営業利益	257	459
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	0	0
為替差益	2	6
デリバティブ評価益	5	—
その他	18	4
営業外収益合計	28	11
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	284	468
特別利益		
補助金収入	—	23
保険解約返戻金	47	50
特別利益合計	47	73
特別損失		
固定資産除却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	331	539
法人税等	109	154
四半期純利益	222	385
親会社株主に帰属する四半期純利益	222	385

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	222	385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	4
為替換算調整勘定	△3	△4
その他の包括利益合計	△2	0
四半期包括利益	219	385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219	385
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	331	539
減価償却費	43	44
のれん償却額	13	10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△3
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	1
受取利息	△1	△0
受取配当金	△0	△0
為替差損益 (△は益)	△0	△4
デリバティブ評価損益 (△は益)	△5	—
支払利息	1	1
補助金収入	—	△23
保険解約返戻金	△47	△50
固定資産除却損	—	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△202	△1
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△27	△5
仕入債務の増減額 (△は減少)	47	△40
その他	103	△81
小計	257	394
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△55	△143
補助金の受取額	—	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	202	274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△63	△19
定期預金の払戻による収入	39	25
有価証券の償還による収入	—	25
有形固定資産の取得による支出	△1,259	△30
無形固定資産の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の償還による収入	10	—
事業譲受による支出	△21	—
その他	167	161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,134	155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△128	△81
配当金の支払額	△42	△84
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	828	△166
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107	263
現金及び現金同等物の期首残高	1,582	1,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,475	2,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	プロパティ事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,001	1,945	131	5,079	—	5,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	0	1	4	△4	—
計	3,005	1,945	132	5,083	△4	5,079
セグメント利益又は損失 (△)	△2	204	52	254	3	257

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年8月1日至2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	プロパティ事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,165	2,187	259	5,612	—	5,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	0	10	13	△13	—
計	3,167	2,187	270	5,626	△13	5,612
セグメント利益	136	202	113	452	7	459

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。